



## 神戸・ルミナリエの代替イベント始まる 歴代「光の装飾」9基を市中心部7カ所に展示

新型「コロナウイルス」の影響で「神戸ルミナリエ」が昨年に続いて中止となったことを受け、代替行事「ロソーネまちなかミュージアム」が3日、神戸市中心部で始まった。1995年の1回目以降のルミナリエで設置された歴代の光の装飾9基を7カ所に展示。阪神・淡路大震災の犠牲者への鎮魂を祈るルミナリエの意義を伝える。12日まで。

暗闇に浮かぶ光の装飾。雨に濡れた路面に映り込んだ=3日夜、神戸市中央区波止場町、メリケンパーク(撮影・中西幸大)

we support+

**RQ**  
災害教育  
センター

MONTHLY

復興支援  
かわらばん

「東北に黒糖を送ろう!大作戦しんぶん」改め  
**すけさきたしんぶん**

「すけさきた」とは  
宮城県登米市あたりの言葉で  
「ボランティアに来たよ」という  
意味である

DECEMBER  
**11**  
2021

兵庫県や神戸市などでつくる神戸ルミナリエ組織委員会主催。昨年の代替行事は東遊園地に光の聖堂「カッサー・アルモ二カ」を置いたが、今年は同遊園地が改修工事使えず、密集を避ける分散型の行事にした。

展示された電飾は、イタリア語で「バラ窓」を意味するロソーネ(直径約3メートル)9基。95〜2019年のルミナリエで、旧居留地に約300メートルにわたって並べられたアーチ型作品「ガレリア」の最終地点に輝くシンボルとなった。

東遊園地のほか、神戸朝日ビル▽神戸ポートミュージアム南側緑地▽三宮センター街▽南京町▽大丸神戸店前▽メリケンパークに展示され、期間中、日没から午後9時まで点灯する。

友人と東遊園地を訪れた女子高校生(17)「大阪市」は、母親が神戸市内で被災したという。3日午前には地震があったこともあり「不安になった。お母さんもこんな気持ちだったのかな」と話していた。(初鹿野俊)

(12月5日 福島民報)

福島県浪江町請戸の郷土芸能と雅楽が共演するステージ「雅道の友垣(ともがき)in福島」は5日、いわき市勿来市民会館で開かれた。避難先から集まった請戸芸能保存会の会員が、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故からの復興を願い、田植え踊りと獅子舞を披露した。

原発事故後から請戸芸能保存会を支援している東京都

## 復興願う田植え踊りと獅子舞 福島県浪江町の請戸芸能保存会

の雅楽団体の雅楽道友会が、震災から10年が経過した節目に伝統芸能を次世代に継承する一助にしようと企画した。

獅子舞と田植え踊りは、厳かな雅楽の舞台上で行われた。請戸芸能保存会の会員が情感を込めて舞っていた。

保存会の佐々木繁子会長は「各地に散った踊り手たちが集まり、発表する場の大切さを実感した。今後も皆が集まれるよう努めたい」と感想を述べた。

雅楽道友会は県内の神職でつくる福島みやび会と雅楽の「越天楽」と「打球楽」などを奏でた。



雅楽の舞台上で情感を込めて田植え踊りを披露する保存会の会員